

SASUE LIBRARY  
町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



人間の勝手な都合で捨てられた犬やねこたちを収容する施設があります。動物達それぞれのドラマを追う、感動ノンフィクションです。

沢田 俊子 文

命の重さはみな同じ

TAKANOSU LIBRARY  
町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



海の向こうから流れてきた赤くて丸いもの。だるまだ！なぜ？なんて考えている間もなく町はだるまブームに。町の人たちのだるま利用法？もなかなかユニークです。

高畠 那生 作

だるまだ！

新刊紹介

町立図書館おすすめ

図書館においてある最新本の中からおすすめのものピックアップ。バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

Pick Up New publication

長島 文芸

Naoshima Bungai  
ながしまぶんげい

明神俳句会

薄暮なほ西日に浮かぶ観覧者  
淵脇 護

熱の子にカーテン厚く大西日  
二階堂妙子

汗拭きつ講師の覗く腕時計  
筑前 初市

海霧の中より巨船迫り来る  
大堂 早苗

雑魚寝して起床まちまち夏休み  
迫口 君代

鶏小屋の鶏落ちつかぬ大西日  
山崎加代子

一筋の風の道見ゆ黍風  
中橋 藤七

風風ぎて海霧にかくれし島の裾  
関 佳代美

長島短歌会

オーストラリアの海に逝きたる孫の遺骨海見ゆる  
市尾 操

丘に帰り安らぐ  
岩下 ち江

島に降る雨は激しき音立てて赤潮淀む海に注げり  
岩下 ち江

垂れ下がる赤紫の葛の花精一杯に秋を装ふ  
岩下 房代

助手席の孫がつぶやく片言はでんでん虫の歌にて  
米尾 和子

あらん  
坂之下典子

涙して終戦勅諭聞きしかど静脈浮く手に年金給ふ  
中山タマエ

二十年ぶり訪なふ岐阜は雨激し弟の弔ひいたく哀  
中山タマエ

しき  
浜田美代子

野牡丹の薄紫の色清か疲れし体を癒してくれて  
浜田美代子

玉碎とは風が運びし便りにて兄は何処の海に潜る  
松枝 枝

や

稲田まもり 激暑の中に立ち給ふ田の神にそそぐ水  
林 ヒロ  
たつぷりと  
茶の間より今朝見る海の静かにて帆掛け小舟は蜻  
釣るらしき  
松元 睦子  
思はずも指に力のこもるなり洗ふ墓には夫がねむ  
りて  
日射病かかぬ為の注意書眼こらして見をり朝な夕  
なに  
町田キクエ  
「ケキヨ」とのみ鳴く鶯の声聞かばカラオケ下手  
の亡夫を想へり  
吉田 映子

創生短歌会

河野裕子はとうと逝つてしまいたり歌の師いなり  
竹之内重信

し河野裕子が  
野村 益信

猪に備へ畑に鉄線めぐらせる人家ありけん人里遠  
野村 益信

なるようになるしかならぬ戸を閉めて予約したり  
石原百合子

し美容院へ行く  
大塚 洋子

母の忌に柿の葉裏に柿みえて人の悲しみ気づかず  
大塚 洋子

太る  
宮元 司

新しき冷蔵庫が来るこの朝の庭の紫陽花みずいろ  
宮元 司

に澄む  
村上 義彦

カーテンに仕切る病室四人部屋真夜の躰に眠られ  
村上 義彦

ずいる  
山下 学

雨の夜の飲食街のにぎわいにすれ違う時今かたむ  
山下 学

一般作品

俳句  
まほろばに春の青さの増す日かな  
宗方 正喜

短歌  
肌身良し涼しき風や秋成りや食欲有や気分良き事  
町田 末則

花を愛で花を生おる幼子と何を望まん足りし明け  
中仮屋辰子

暮れ